



上向台小だより

臨時号
西東京市立上向台小学校
令和4年3月23日

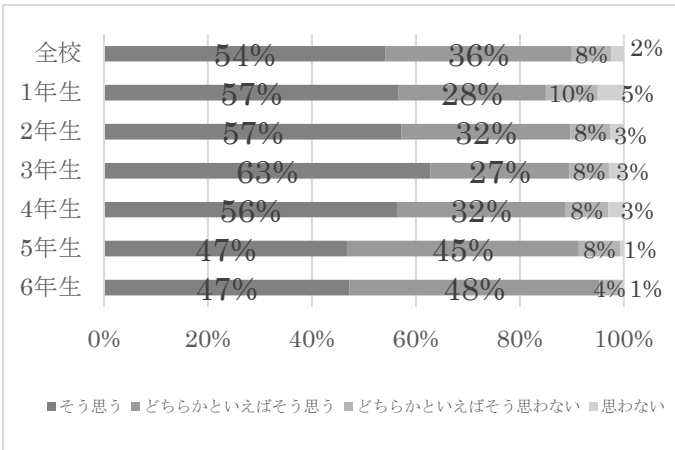
<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-kamimukoudai>

令和3年度 第2回 学校アンケートのまとめ

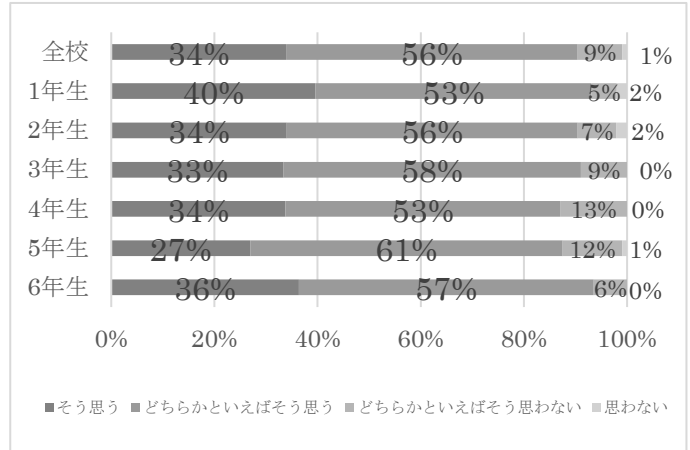
2学期末学校アンケートでは、ご多用の中にも関わらずご協力いただき、ありがとうございました。また、2月末には学校運営連絡協議会にて今年度の成果と課題を報告し、評価をいただきました。今年度の結果がまとまりましたので、ご報告をさせていただきます。

1 主体的な学びについて

<児童>



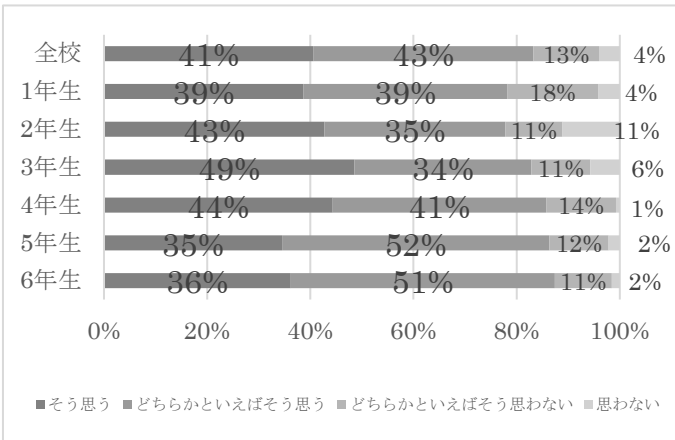
<保護者>



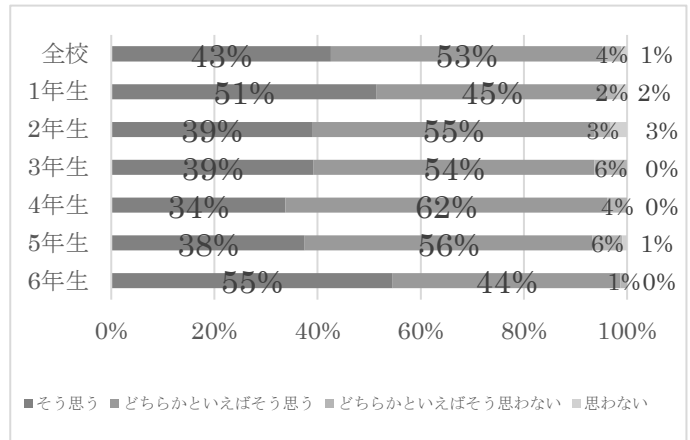
アンケート結果から、多くの児童がめあてをもってすすんで学習することが概ねできていることが分かります。今後も、主体的に学ぶ意識が高まる学習課題を設定し、新たな課題への動機付けや自己の成長への気付きにつながるような振り返りを大切にしていきます。

2 対話的な学びについて

<児童>



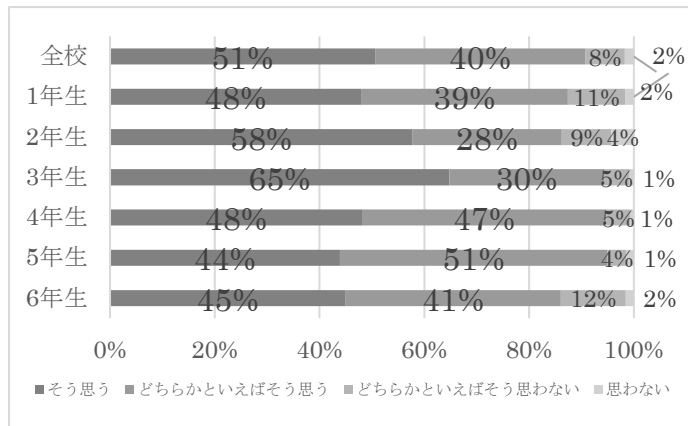
<保護者>



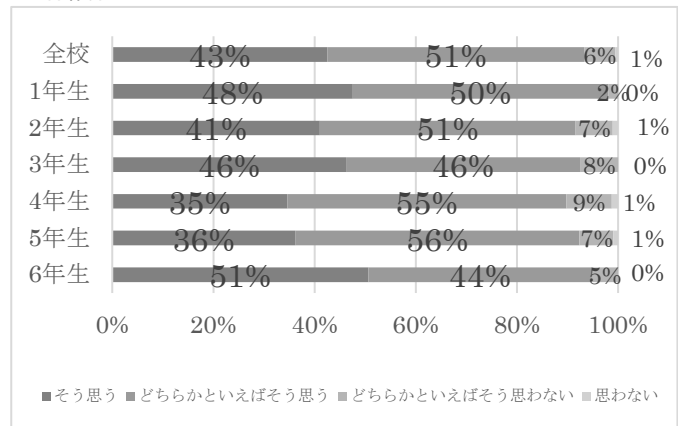
全校児童の8割以上が自分と他の人の考えを比べたり、考えたことを分かりやすくまとめて伝えたりすることについて肯定的回答をしています。今後も、児童が様々な人との交流により見方や考え方を広げる良さを実感できるよう、授業改善に努めていきます。また、児童の思考の広がりや深まりを教師が価値付けるとともに、話し合いや協働的な活動の後にしっかり振り返る時間を設定し、児童が自分の変容に気付けるようにしていきます。

3 基礎基本の定着について

<児童>



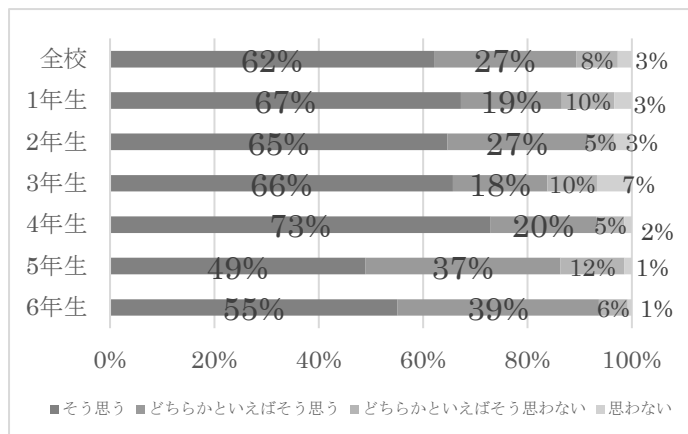
<保護者>



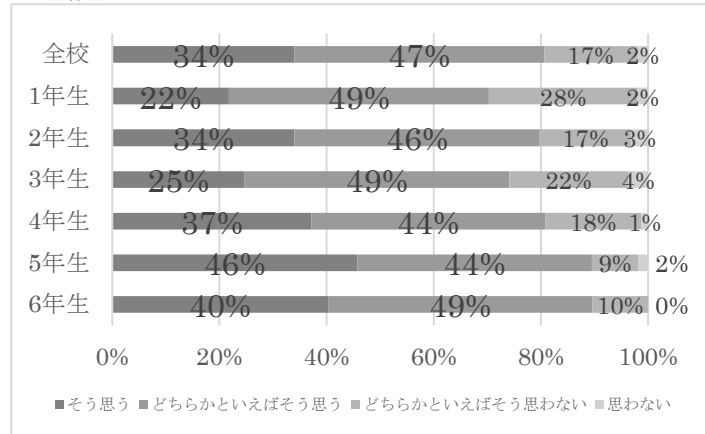
「授業で学んだことを理解できている」と実感している児童が多い一方、東京ベーシックドリル（算数）の結果からは、定着が不十分な点も見られています。e ライブラリなどを用いて前学年までの学習内容も習慣的かつ継続的に確かめていく必要があると考えます。朝学習の時間を活用しながら全校で計画的に取り組み、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っていきます。

4 タブレットの活用について

<児童>



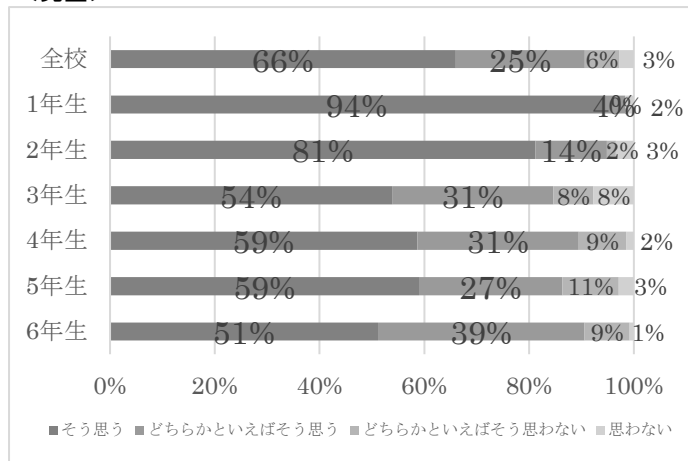
<保護者>



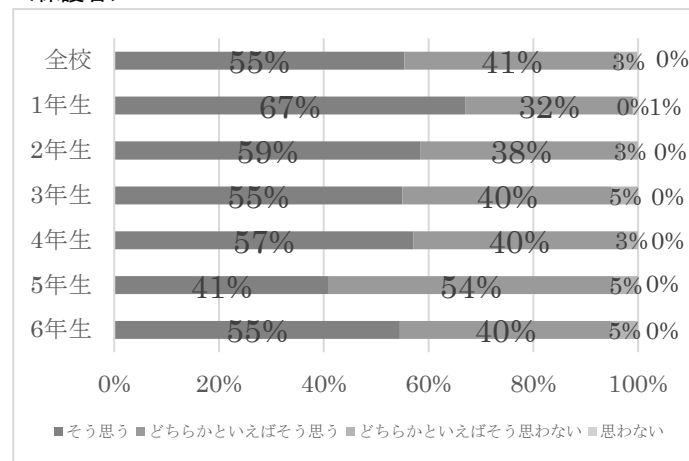
今年度、「タブレットマスターカード」を作成しました。学年の発達段階に応じて、技能の目標を明確にしながら、来年度も引き続き活用し、児童のタブレット活用能力を高めていきます。情報保護の観点から、現状のタブレット使用には一部制限がありますが、教員が活用の仕方について情報共有しながら新しい取組に挑戦し、個の学びを充実させる方法を学んでいきます。また、授業中の取組をホームページなどで積極的に発信するとともに、授業と家庭学習でつながりをもたせるような活用も広げていきます。

5 体育の授業について

<児童>



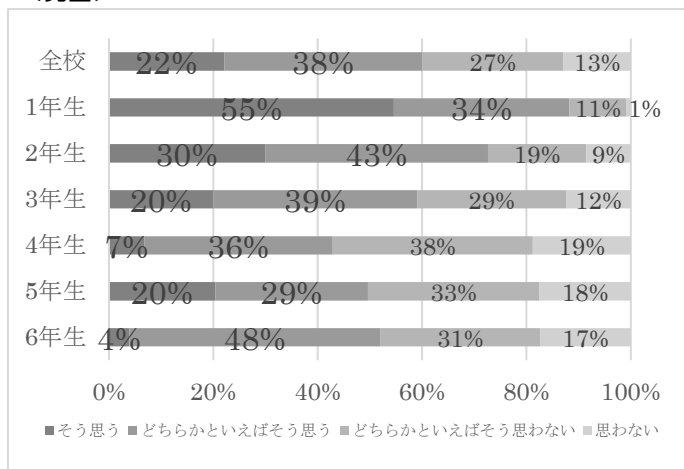
<保護者>



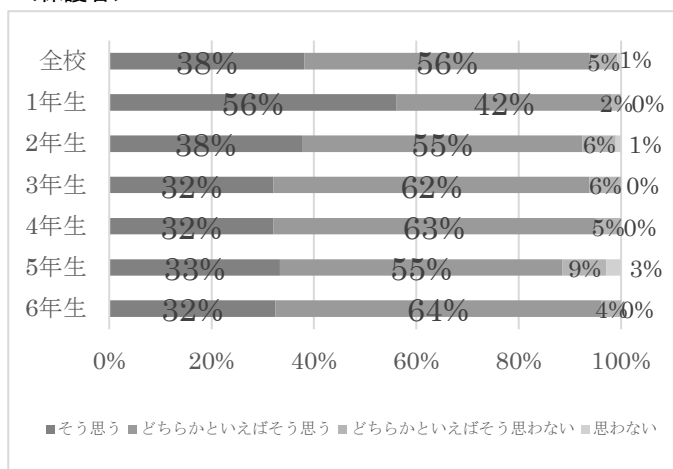
多くの児童が体育の学習に意欲的に取り組むことができ、保護者の方からも肯定的回答を多くいただきました。今年度、本校は「わかる・ほめる」体育授業について研究を進めてきました。その結果、体育の授業において自分の運動の課題を見付けたり、解決に向けて取り組んだりしながら、考えを広げ深め、すすんで学習する児童が増えています。今後は体育科だけでなく、他教科等でも「わかる・ほめる授業」を通して、考えを伝え合う力や見通しをもって課題を解決する力を育てていきます。

6 言葉遣いや「さん」付けについて

<児童>



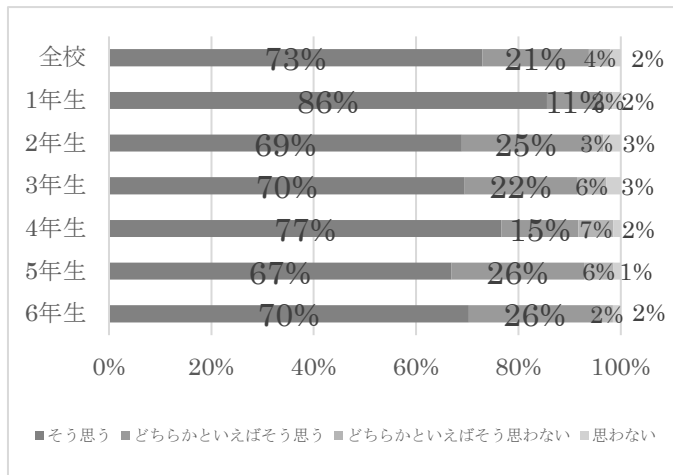
<保護者>



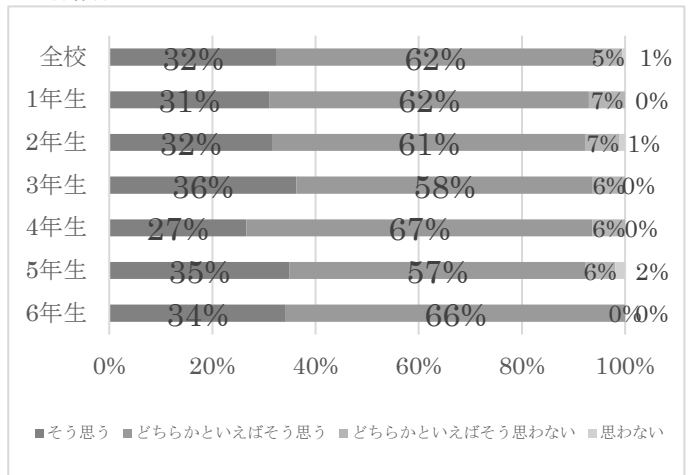
教職員の振る舞いや日常的な指導により、誰に対しても「さん」付けで呼ぶことは年度当初より浸透し、定着しつつあります。しかし、学年が上がるにつれ、肯定的な回答が低くなる傾向にありました。互いを「さん」付けで呼んでも、友達同士の心の距離は変わらないことを意識付けていきます。また、1年生のうちから全教職員で「さん」付けで呼ぶことを徹底し、正しい言葉遣い、思いやりのある言葉遣いを大切にする環境を今後も整えていきます。

7 いじめ防止について

<児童>



<保護者>

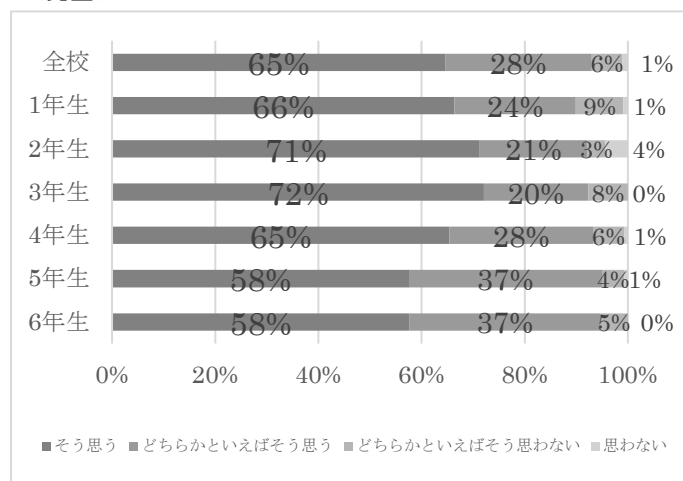


9割以上の児童が「絶対にいじめはしない」という意識をもっています。今後もいじめ防止の指導を日常的に行い、児童の人権感覚を育むとともに、便りやホームページでも取組の様子を発信していきます。

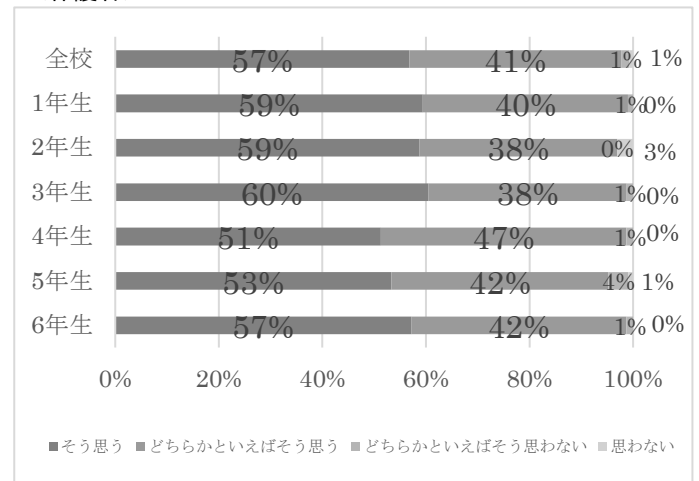
また、年3回の「ふれあい月間」を中心に、日頃から実態把握に努め、いじめの問題に対する組織的な対応を継続していきます。

8 学校のきまりや 健康・安全について

<児童>



<保護者>



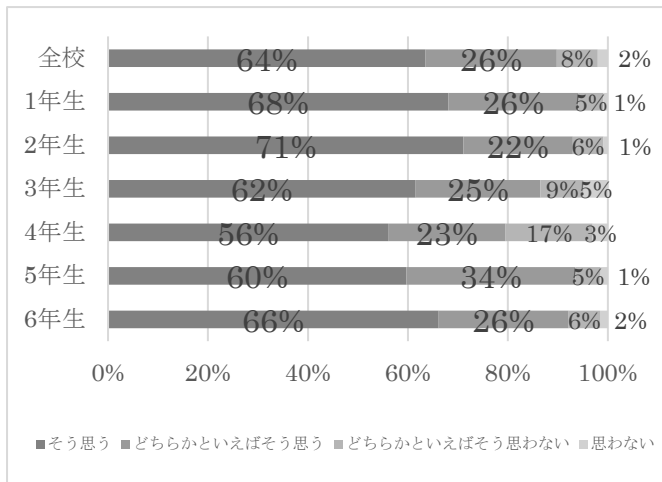
全学年9割以上の児童が「学校のきまりを守り、安全や健康に気を付けて生活することができている」と回答しています。上小安全対策5項目について、教職員間で共通理解し、徹底してきたことにより、きまりを守ることや健康・安全に気を付けることについて児童にも浸透しました。今後も、感染症対策を中心に、状況に応じてその都度、必要な対策を教職員で確認しながら、児童の健康・安全を確実に守っていくことができるようにしていきます。

※上小安全対策5項目

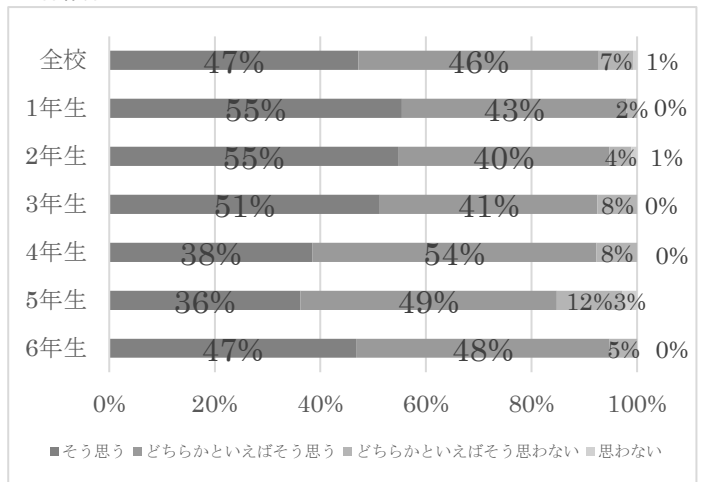
- ・3つの密（密閉・密集・密接）を回避する。
- ・手洗いやマスクの着用についての指導を徹底する。
- ・時差登校を実施し、毎朝の検温確認、健康観察を確実に行う。
- ・「上小給食指導マニュアル」に基づいた指導を確実に行う。
- ・休み時間、下校時間帯の見守りを行うとともに、下校後の消毒の徹底等、安全対策を徹底する。

9 挨拶について

<児童>



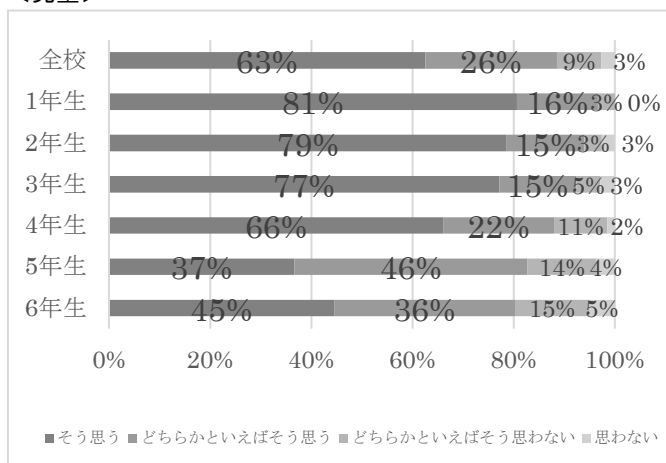
<保護者>



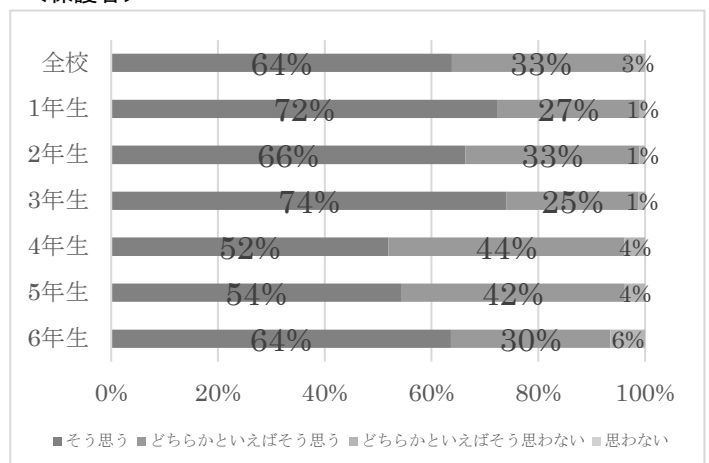
児童、保護者ともに9割以上が肯定的な回答をしており、自ら挨拶できる児童が増えていることが分かります。登下校の挨拶のみならず、来校者や地域の方へもすすんで挨拶をすることができるよう、発達段階に応じた挨拶指導を積み重ねていきます。

10 異学年交流について

<児童>



<保護者>

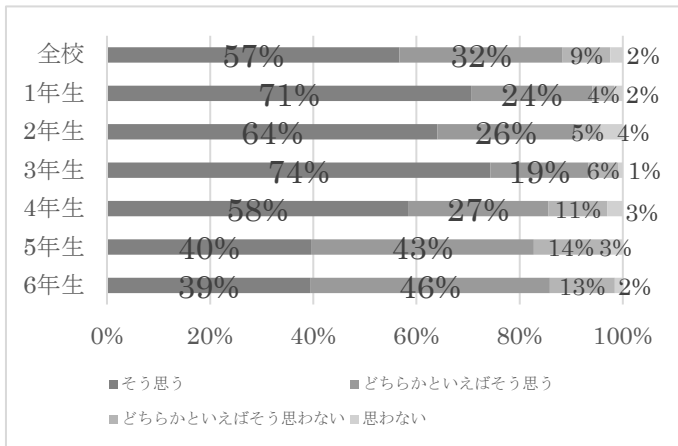


コロナ禍ではありましたが、安全対策を講じながら異学年交流の機会を保障することができました。今後も、フレンド班活動のみならず、各教科等においても異学年で交流する機会を設けていきます。

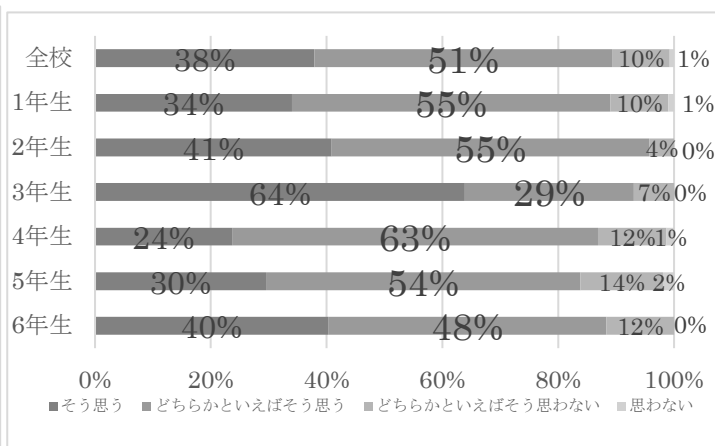
また、来年度は、これまでの行事の見直しを行いながら、さらに児童の願いを実現できる異学年交流の場になるように計画し、異学年で関わり合う楽しさや喜びをより一層感じられるようにしていきます。

11 地域との関わり・学習について

<児童>



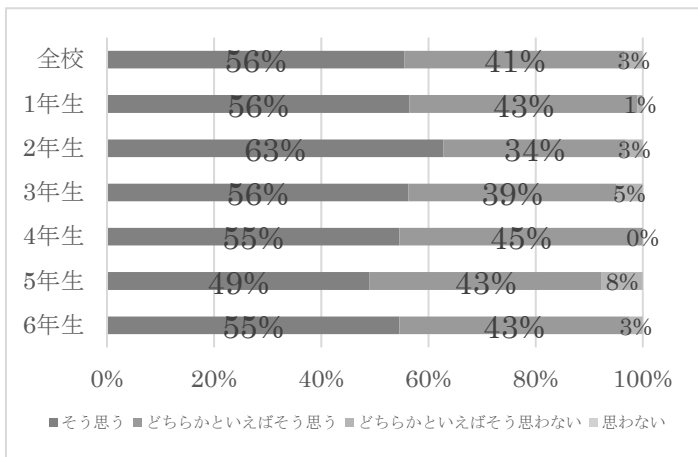
<保護者>



「地域の『人・もの・こと』と関わって学習することが楽しい」と回答している児童は全学年で8割を超えており、保護者の方からも肯定的回答を多くいただきました。生活科や総合的な学習の時間を基軸としたカリキュラムをもとに、地域とのつながりを一層深め、コロナ禍においても保護者や地域の方との交流をもつことができるよう工夫していきます。また、今年度の取組や協力していただいた方・施設などの情報をデータベース化して教職員で共有し、実践を積み重ねていきます。そして、学習の様子や成果について積極的に地域の方に発信し、活動の幅をさらに広げていきます。今後ともご協力をお願いいたします。

12 情報発信について

<保護者>



97%の保護者の方に肯定的な回答をいただきました。今後も、日々の教育活動や児童の様子について、週に1回以上のホームページ掲載を継続していきます。

学校評価についてはホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。アンケートの結果や頂いたご意見をもとに、来年度も本校の課題を見極めながら、教育活動の改善を図ってまいります。

今年度も、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、ありがとうございました。